

◎社会保障に関する日本国とチェコ共和国との間の協定

(略称) チェコとの社会保障協定

平成二十年 二月二十一日 プラハで署名
平成二十年 六月 十二日 国会承認
平成二十一年 三月二十四日 批准の閣議決定
平成二十一年 三月三十一日 プラハで批准書の交換
平成二十一年 四月 二日 公布及び告示
平成二十一年 六月 一日 効力発生
(条約第二号及び外務省告示第一七〇号)

目次	ページ
前文	一八三
第一部 総則	一八三
第一条 定義	一八三
第二条 この協定の適用範囲	一八四
第三条 この協定の適用を受ける者	一八六
第四条 待遇の平等	一八六
第五条 海外への給付の支払	一八六
第二部 適用法令に関する規定	一八六
第六条 一般規定	一八六

第七 条 特別規定	一八七
第八 条 海上航行船舶において就労する者	一八八
第九 条 外交使節団の構成員、領事機関の構成員及び公務員	一八八
第十 条 第六条から前条までの規定の例外	一八八
第十一 条 随伴する配偶者及び子	一八九
第十二 条 強制加入	一八九
第三部 給付に関する規定	一九〇
第一章 共通規定	一九〇
第十三 条 通算	一九〇
第二章 チエコ共和国に関する規定	一九〇
第十四 条 第三国の法令による期間及び十二箇月未満の期間	一九〇
第十五 条 給付の計算	一九〇
第十六 条 特別規定	一九一
第三章 日本国に関する規定	一九二
第十七 条 通算に関する特別規定	一九二
第十八 条 障害給付及び遺族給付に関する特別規定	一九三
第十九 条 給付の計算	一九三
第四部 雑則	一九五
第二十 条 行政上の協力	一九五
第二十一 条 手数料及び認証	一九五
第二十二 条 連絡及び使用言語	一九六
第二十三 条 文書の提出	一九六

第二十四条	情報の秘密性	一九七
第二十五条	給付の支払	一九七
第二十六条	意見の相違の解決	一九七
第二十七条	見出し	一九七
第五部	経過規定及び最終規定	一九七
第二十八条	この協定の効力発生前の事実	一九七
第二十九条	この協定の効力発生前の決定及び再計算	一九八
第三十条	効力発生	一九八
第三十一条	有効期間及び終了	一九八
末 文		一九九

社会保障に関する日本国とチェコ共和国との間の協定

日本国及びチェコ共和国（以下「締約国」という。）は、
社会保障の分野における両国間の関係を規律することを希望して、
次のとおり協定した。

第一部 総則

第一条 定義

1 この協定の適用上、

(a) 「国民」とは、次の者をいう。

日本国については、日本国の国籍に関する法律にいう日本国民

チェコ共和国については、チェコ共和国の国籍を有する者

(b) 「法令」とは、次条に規定する制度に関するいずれか一方の締約国の法律及び規則をいう。

(c) 「権限のある当局」とは、次条に規定するいずれか一方の締約国の制度を管轄する当該一方の締約国の省その他の政府機関をいう。

(d) 「実施機関」とは、次条に規定するいずれか一方の締約国の制度の実施に責任を有する当該一方の締約国の保険機関（その連合組織を含む。）をいう。

チェコとの社会保障協定

AGREEMENT BETWEEN
JAPAN AND THE CZECH REPUBLIC
ON SOCIAL SECURITY

Japan and the Czech Republic,
hereinafter referred to as the "Contracting States",
Being desirous of regulating the relationship between
them in the field of social security,
Have agreed as follows:

Have agreed as follows:

Part I
General Provisions

Article 1
Definitions

1. For the purpose of this Agreement,

(a) "national" means,

as regards Japan,
a Japanese national within the meaning of the law
on nationality of Japan,

as regards the Czech Republic,
a person with the nationality of the Czech
Republic;

(b) "legislation" means,

the laws and regulations of a Contracting State
concerning the systems specified in Article 2;

(c) "competent authority" means,

the Ministry or other governmental agency of a
Contracting State competent for the systems of
that Contracting State specified in Article 2;

(d) "competent institution" means,

any of the insurance institutions, or association
thereof of a Contracting State, responsible for
the implementation of the systems of that
Contracting State specified in Article 2;

チェコとの社会保障協定

一八四

(e) 「保険期間」とは、いずれか一方の締約国の法令による保険料納付期間及び給付を受ける権利の確立に際して当該法令に基づき考慮されるその他の期間をいう。

(f) 「給付」とは、いずれか一方の締約国の法令による年金その他の給付をいう。

2 この協定の適用上、この協定において定義されていない用語は、それぞれの締約国の法令において与えられている意味を有するものとする。

第二条 この協定の適用範囲

1 この協定は、チェコ共和国については、次の法律によって規律される制度について適用する。

- (a) 年金保険法及びその関係法
- (b) (i) 社会保険料・国家雇用政策保険料法及びその関係法

(ii) 公的健康保険法及びその関係法

ただし、この協定の適用上、第五条、第十三条から第十九条まで、第二十三条、第二十五条、第二十八条（4の規定を除く。）、第二十九条及び第三十一条2の規定は、(a)に規定する法律によって規律される制度についてのみ適用する。

2 この協定は、日本国については、

- (a) 次の日本の年金制度について適用する。
 - (i) 国民年金（国民年金基金を除く。）
 - (ii) 厚生年金保険（厚生年金基金を除く。）
 - (iii) 国家公務員共済年金

(e) "period of coverage" means,

a period of contribution under the legislation of a Contracting State, and any other period taken into account under that legislation for establishing entitlement to benefits;

(f) "benefit" means,

a pension or any other benefit under the legislation of a Contracting State.

2. For the purpose of this Agreement, any term not defined in this Agreement shall have the meaning assigned to it under the respective legislation of either Contracting State.

Article 2 Matters Covered

1. As regards the Czech Republic, this Agreement shall apply to the systems regulated by the following acts:

- (a) the Pension Insurance Act and related acts;
- (b) (i) Social Insurance Contribution and State Employment Policy Premium Act and related acts; and
- (ii) Public Health Insurance Act and related acts;

however, for the purpose of this Agreement, Articles 5, 13 to 19, 23, 25, 28 (except for paragraph 4), 29 and paragraph 2 of Article 31 shall apply only to the systems regulated by the acts as provided for in subparagraph (a).

2. As regards Japan, this Agreement shall apply,

- (a) to the following Japanese pension systems:
 - (i) the National Pension (except the National Pension Fund);
 - (ii) the Employees' Pension Insurance (except the Employees' Pension Fund);
 - (iii) the Mutual Aid Pension for National Public Officials;

(iv) 地方公務員等共済年金（地方議会議員の年金制度を除く。）

(v) 私立学校教職員共済年金

(ii) から (v) までに掲げる日本国の年金制度は、以下「日本国の被用者年金制度」という。）

ただし、この協定の適用上、国民年金には、老齢福祉年金その他の福祉的目的のため経過的又は補完的に支給される年金であつて、専ら又は主として国庫を財源として支給されるものを含めない。

(b) 次の法律により実施される日本国の医療保険制度について適用する。

(i) 健康保険法（大正十一年法律第七十号）

(ii) 船員保険法（雇用保険及び労働者災害補償保険に関する規定を含む。）（昭和十四年法律第七十三号）

(iii) 国民健康保険法（昭和三十三年法律第九十二号）

(iv) 国家公務員共済組合法（昭和三十三年法律第二百十八号）

(v) 地方公務員等共済組合法（昭和三十七年法律第五百十二号）

(vi) 私立学校教職員共済法（昭和二十八年法律第二百四十五号）

(vii) 高齢者の医療の確保に関する法律（昭和五十七年法律第八十号）

ただし、この協定の適用上、第五条、第十三条から第十九条まで、第二十三条、第二十五条、第二十八条（４）の規定を除く。（）、第二十九条及び第三十一条２の規定は、(a) に掲げる日本国の年金制度についてのみ適用する。

(iv) the Mutual Aid Pension for Local Public Officials and Personnel of Similar Status (except the pension system for members of local assemblies); and

(v) the Mutual Aid Pension for Private School personnel;

(the Japanese pension systems specified in (ii) to (v) shall hereinafter be referred to as the "Japanese pension systems for employees");

however, for the purpose of this Agreement, the National Pension shall not include the Old Age Welfare Pension or any other pensions which are granted on a transitional or complementary basis for the purpose of welfare and which are payable wholly or mainly out of national budgetary resources; and

(b) to the Japanese health insurance systems implemented under the following laws:

(i) the Health Insurance Law (Law No. 70, 1922);

(ii) the Seamen's Insurance Law (including the provisions on employment insurance and workers' accident compensation insurance) (Law No. 73, 1939);

(iii) the National Health Insurance Law (Law No. 192, 1958);

(iv) the Law Concerning Mutual Aid Association for National Public Officials (Law No. 128, 1958);

(v) the Law Concerning Mutual Aid Association for Local Public Officials and Personnel of Similar Status (Law No. 152, 1962);

(vi) the Law Concerning Mutual Aid for Private School Personnel (Law No. 245, 1953); and

(vii) the Law Concerning the Security of Healthcare Treatment for Senior Citizens (Law No. 80, 1982);

however, for the purpose of this Agreement, Articles 5, 13 to 19, 23, 25, 28 (except for paragraph 4), 29 and paragraph 2 of Article 31 shall apply only to the Japanese pension systems specified in subparagraph (a).

3 1及び2に規定する法律には、その改正を含める（ただし、当該改正の前に当該法律によって規律され、又は実施されていた制度の範囲が当該改正により変更されない場合に限る。）。

第三条 この協定の適用を受ける者

この協定は、いずれか一方の締約国の法令の適用を受けているか又は受けたことがある者並びにこれらの者に由来する権利を有するその他の者について適用する。

第四条 待遇の平等

この協定に別段の定めがある場合を除くほか、前条に規定する者であつて一方の締約国の領域内に通常居住するものは、当該一方の締約国の法令の適用に際し、当該一方の締約国の国民と同等の待遇を受ける。

第五条 海外への給付の支払

1 この協定に別段の定めがある場合を除くほか、一方の締約国の領域外に通常居住する（このみを理由として給付を受ける権利の取得又は給付の支払を制限する当該一方の締約国の法令の規定は、他方の締約国の領域内に通常居住する者については、適用しない）。

2 一方の締約国の法令による給付は、第三国の領域内に通常居住する他方の締約国の国民に対しては、当該第三国の領域内に通常居住する当該一方の締約国の国民に対して支給する場合と同一の条件で支給する。

第二部 適用法令に関する規定

第六条 一般規定

この協定に別段の定めがある場合を除くほか、いずれか一方の締約国の領域内において被用者又は自営業者として就労する者については、その被用者又は自営業者としての就労に関し、当該一方の締約国の法令のみを適用する。

3. The acts and laws referred to in the preceding paragraphs shall also include amendments to those in so far as they do not modify the scope of the systems regulated or implemented by those prior to such amendments.

Article 3
Persons Covered

This Agreement shall apply to a person who is or has been subject to the legislation of a Contracting State and other persons who derive rights from such person.

Article 4
Equality of Treatment

Unless otherwise provided in this Agreement, the persons specified in Article 3, who ordinarily reside in the territory of a Contracting State, shall receive equal treatment with nationals of that Contracting State in the application of the legislation of that Contracting State.

Article 5
Payment of Benefits Abroad

1. Unless otherwise provided in this Agreement, any provision of the legislation of a Contracting State which restricts entitlement to or payment of benefits solely because the person ordinarily resides outside the territory of that Contracting State shall not be applicable to persons who ordinarily reside in the territory of the other Contracting State.

2. Benefits under the legislation of a Contracting State shall be paid to nationals of the other Contracting State who ordinarily reside in the territory of the third state, under the same conditions as if they were nationals of the first Contracting State who ordinarily reside in the territory of that third state.

Part II
Provisions concerning the Applicable Legislation

Article 6
General Provisions

Unless otherwise provided in this Agreement, a person who works as an employee or a self-employed person in the territory of a Contracting State shall, with respect to that employment or self-employment, be subject only to the legislation of that Contracting State.

特別規定

第七条 特別規定

- 1 一方の締約国の法令に基づく制度に加入し、かつ、当該一方の締約国の領域内に事業所を有する雇用者に当該領域内において雇用されている被用者が、当該雇用者のため他方の締約国の領域内において就労するために当該雇用者により当該一方の締約国の領域から派遣される場合には、その派遣の期間が五年を超えるものと見込まれないことを条件として、その被用者が当該一方の締約国の領域内において就労しているものとみなして当該一方の締約国の法令のみを適用する。
- 2 1に規定する派遣が五年を超えて継続される場合には、両締約国の権限のある当局又はこれらの権限のある当局が指定する実施機関は、当該派遣に係る被用者に対して1に規定する一方の締約国の法令のみを引き続き適用することについて合意することができ、
3 1の規定は、雇用者により一方の締約国の領域から第三国の領域に派遣されていた被用者が、その後当該雇用者により当該第三国の領域から他方の締約国の領域に派遣される場合についても、適用する。
- 4 一方の締約国の法令に基づく制度に加入し、かつ、当該一方の締約国の領域内において自営業者として通常就労する者が、他方の締約国の領域内においてのみ自営業者として一時的に就労する場合には、当該他方の締約国の領域内における自営活動の期間が五年を超えるものと見込まれないことを条件として、その者が当該一方の締約国の領域内において就労しているものとみなして当該一方の締約国の法令のみを適用する。
- 5 4に規定する他方の締約国の領域内における自営活動が五年を超えて継続される場合には、両締約国の権限のある当局又はこれらの権限のある当局が指定する実施機関は、当該自営活動に係る自営業者に対して4に規定する一方の締約国の法令のみを引き続き適用することについて合意することができ、

Article 7 Special Provisions

1. Where an employee who is covered under the legislation of a Contracting State and employed in the territory of that Contracting State by an employer with a place of business in that territory is sent by that employer from that territory to work for that employer in the territory of the other Contracting State, that employee shall be subject only to the legislation of the first Contracting State as if that employee were working in the territory of the first Contracting State, provided that the period of such detachment is not expected to exceed five years.
2. If the detachment referred to in paragraph 1 of this Article continues beyond five years, the competent authorities of both Contracting States or the competent institutions designated by those competent authorities may agree that the employee remains subject only to the legislation of the first Contracting State.
3. Paragraph 1 of this Article shall apply where an employee who has been sent by an employer from the territory of a Contracting State to the territory of the third state is subsequently sent by that employer from the territory of that third state to the territory of the other Contracting State.
4. Where a person who is covered under the legislation of a Contracting State and who ordinarily works as a self-employed person in the territory of that Contracting State, works temporarily as a self-employed person only in the territory of the other Contracting State, that person shall be subject only to the legislation of the first Contracting State as if that person were working in the territory of the first Contracting State, provided that the period of the self-employed activity in the territory of the other Contracting State is not expected to exceed five years.
5. If the self-employed activity in the territory of the other Contracting State referred to in paragraph 4 of this Article continues beyond five years, the competent authorities of both Contracting States or the competent institutions designated by those competent authorities may agree that the self-employed person remains subject only to the legislation of the first Contracting State.

6 1 及び 4 の規定は、日本国の領域内に事業所を有する雇用者に当該領域内において雇用されている者又は日本国の領域内において自営業者として通常就労する者が、第 1 条 2 (a) (i) から (v) までに掲げる日本国の年金制度に加入していない場合には、適用しない。

第 8 条 海上航行船舶において就労する者

一方の締約国の旗を掲げる海上航行船舶において就労する者については、

- (a) 当該者が被用者である場合には、その者の雇用者がその領域内に所在する締約国の法令のみを適用する。
- (b) 当該者が自営業者である場合には、その者がその領域内に通常居住する締約国の法令のみを適用する。

第 9 条 外交使節団の構成員、領事機関の構成員及び公務員

- 1 この協定は、千九百六十一年四月十八日の外交関係に関するウィーン条約又は千九百六十三年四月二十四日の領事関係に関するウィーン条約の規定の適用を妨げるものではない。
- 2 1 の規定に従うことを条件として、一方の締約国の公務員又は当該一方の締約国の法令において公務員として取り扱われる者が他方の締約国の領域内において就労するために派遣される場合には、その者が当該一方の締約国の領域内において就労しているものとみなして当該一方の締約国の法令のみを適用する。

第 10 条 第六条から前条までの規定の例外

両締約国の権限のある当局又はこれらの権限のある当局が指定する実施機関は、被用者及び雇用者の共同の申請又は自営業者の申請に基づき、特定の者又は特定の範囲の者の利益のため、これらの特定の者又は特定の範囲の者にいずれか一方の締約国の法令が適用されることを条件として、第六条から前条までの規定の例外を認めることについて合意することができる。

海上航行船舶において就労する者

外交使節団の構成員、領事機関の構成員及び公務員

第六条から前条までの規定の例外

6. Paragraphs 1 and 4 of this Article shall not apply to a person who is employed in the territory of Japan by an employer with a place of business in that territory or who ordinarily works as a self-employed person in the territory of Japan, if that person is not covered under the legislation of Japan concerning the Japanese pension systems specified in subparagraph (a)(i) to (v) of paragraph 2 of Article 2.

Article 8
Persons Working on Board a Sea-Going Vessel

A person who works on board a sea-going vessel flying the flag of a Contracting State shall be subject only to:

- (a) In cases in which the person is an employee, the legislation of the Contracting State in whose territory the employer is located;
- (b) In cases in which the person is a self-employed person, the legislation of the Contracting State in whose territory that person ordinarily resides.

Article 9
Members of Diplomatic Missions,
Members of Consular Posts and Civil Servants

1. This Agreement shall not affect the provisions of the Vienna Convention on Diplomatic Relations of April 18, 1961, or the Vienna Convention on Consular Relations of April 24, 1963.

2. Subject to paragraph 1 of this Article, where any civil servant of a Contracting State or any person treated as such in the legislation of that Contracting State is sent to work in the territory of the other Contracting State, that person shall be subject only to the legislation of the first Contracting State as if that person were working in the territory of the first Contracting State.

Article 10
Exceptions to Articles 6 to 9

At the joint request of an employee and an employer or at the request of a self-employed person, the competent authorities of both Contracting States or competent institutions designated by those competent authorities may agree to grant an exception to the provisions of Articles 6 to 9 in the interest of particular persons or categories of persons, provided that such persons or categories of persons shall be subject to the legislation of either of the Contracting States.

第十一条 随伴する配偶者及び子

1 日本国の領域内において就労する者であつて、第七条、第九条2又は前条の規定によりチェコ共和国の法令の適用を受けるものに随伴する配偶者又は子については、

(a) 当該配偶者又は子が日本国民以外の者である場合には、第二条2(a)に規定する日本国の年金制度に関する日本国の法令は、適用しない。ただし、当該配偶者又は子が別段の申出を行う場合には、この(a)の規定は、適用しない。

(b) 当該配偶者又は子が日本国民である場合には、第二条2(a)に規定する日本国の年金制度に関する日本国の法令の適用の免除は、日本国の法令に従つて決定する。

2 第二条1(b)に規定するチェコ共和国の健康保険制度に関するチェコ共和国の法令は、第六条の規定によりチェコ共和国の法令の適用を受ける者に随伴する配偶者又は子であつて、チェコ共和国の領域内に通常居住するものについても、適用する。

第十二条 強制加入

第六条から第八条まで、第九条2及び前条の規定は、いずれか一方の締約国の法令における強制加入についてのみ適用する。

Article 11
Accompanying Spouse and Children

1. As regards the accompanying spouse or children of a person who works in the territory of Japan and who is subject to the legislation of the Czech Republic in accordance with Article 7, paragraph 2 of Article 9 or Article 10:

(a) In cases in which the accompanying spouse or children are persons other than Japanese nationals, the legislation of Japan concerning the Japanese pension systems specified in subparagraph (a) of paragraph 2 of Article 2 shall not apply to them. However, when the accompanying spouse or children so request, the foregoing shall not apply;

(b) In cases in which the accompanying spouse or children are Japanese nationals, the exemption from the legislation of Japan concerning the Japanese pension systems specified in subparagraph (a) of paragraph 2 of Article 2 shall be determined in accordance with the legislation of Japan.

2. As regards the accompanying spouse or children of a person who is subject to the legislation of the Czech Republic in accordance with Article 6, who ordinarily reside within the territory of the Czech Republic, the legislation of the Czech Republic concerning the health insurance system of the Czech Republic specified in subparagraph (b) of paragraph 1 of Article 2 shall also apply to them.

Article 12
Compulsory Coverage

Articles 6 to 8, paragraph 2 of Article 9 and Article 11 shall apply only to compulsory coverage under the legislation of either Contracting State.

チェコとの社会保障協定

第三部 給付に関する規定

第一章 共通規定

第十三条 通算

一方の締約国の実施機関は、当該一方の締約国の法令による給付を受ける権利の取得のための要件を満たすために十分な保険期間を有しない者について、給付を受ける権利を確立するため、当該一方の締約国の法令による保険期間と重複しない限りにおいて、他方の締約国の法令による保険期間を考慮する。

第二章 チェコ共和国に関する規定

第十四条 第三国の法令による期間及び十二箇月未満の期間

1 チェコ共和国の実施機関は、チェコ共和国が第三国との間で保険期間の通算を規定する社会保障に関する文書に拘束される場合には、チェコ共和国の法令による給付を受ける権利を確立するため、当該第三国の法令による保険期間を考慮する。

2 チェコ共和国の法令による保険期間が十二箇月未満であり、かつ、給付を受ける権利が確立されない場合には、チェコ共和国の実施機関は、前条の規定を適用せず、かつ、給付を支給しない。

第十五条 給付の計算

1 給付を受ける権利の取得のための要件が、チェコ共和国の法令に基づき、日本国の法令による保険期間を考慮せずとも満たされる場合には、チェコ共和国の実施機関は、次の(a)及び(b)に規定する方法に従って給付を計算する。

Part III
Provisions concerning Benefits

Section 1
Common Provisions

Article 13
Totalization

Where a person does not have sufficient periods of coverage to fulfill the requirement for entitlement to benefits under the legislation of a Contracting State, the competent institution of that Contracting State shall take into account, for the purpose of establishing entitlement to those benefits, the periods of coverage completed under the legislation of the other Contracting State insofar as they do not coincide with the periods of coverage completed under the legislation of the first Contracting State.

Section 2
Provisions concerning the Czech Republic

Article 14
Periods under the legislation of the Third State
and Periods less than Twelve Months

1. The competent institution of the Czech Republic shall take into account, for the purpose of establishing entitlement to benefits under the legislation of the Czech Republic, the periods of coverage completed under the legislation of the third state, with which the Czech Republic is bound by a social security instrument which provides for the totalizing of periods of coverage.

2. If the periods of coverage completed under the legislation of the Czech Republic are less than twelve months and do not result in any right to benefits, then the competent institution of the Czech Republic shall not apply the provision of Article 13 and will not award the benefits.

Article 15
Calculation of Benefits

1. If under the legislation of the Czech Republic the conditions for the entitlement to benefits are satisfied even without taking into account the periods of coverage completed under the legislation of Japan, the competent institution of the Czech Republic will calculate the benefits,

(a) チェコ共和国の法令による保険期間のみに基づく方法

(b) 2に規定する方法。ただし、その計算の結果が(a)の規定に基づく計算の結果と等しいか、又はそれより低いことが明らかである場合を除く。

受給者は、(a)及び(b)に規定する方法に従って計算した給付の額のうち高い方の額を受ける権利を有する。

2 給付を受ける権利が、チェコ共和国の法令に基づき、日本国の法令による保険期間及び前条1に規定する第三国の法令による保険期間を考慮することによってのみ確立される場合には、チェコ共和国の実施機関は、

(a) すべての保険期間がチェコ共和国の法令のみによる保険期間であるとした場合に支給される理論上の給付の額を計算する。

(b) (a)の規定に従って計算された理論上の額に基づいて、(a)に規定するすべての保険期間に対するチェコ共和国の法令による保険期間の比率を適用することにより、実際に支払われる給付の額を決定する。

チェコ共和国の実施機関は、(a)の規定の適用に当たっては、給付の額の計算の基礎の決定のために、チェコ共和国の法令による保険期間における収入のみを考慮する。チェコ共和国の法令に従って調整された当該収入は、理論上の給付の額の計算に当たって考慮される日本国の法令による保険期間及び第三国の法令による保険期間の間に得られたものとみなす。

第十六条 特別規定

1 (a) 給付を受ける権利、減額、停止又は給付の額に関して法的効果を有する事実であって、日本国の領域内で発生したものは、当該事実がチェコ共和国の領域内で発生したものととして、考慮する。

特別規定

(a) on the basis of the periods of coverage completed exclusively under its legislation, and at the same time,

(b) according to the rules provided by paragraph 2 of this Article, with the exception when the result of this calculation is equal to or lower than the result of the calculation under subparagraph (a).

The person concerned shall be entitled to higher amount of benefits calculated according to subparagraphs (a) and (b).

2. If under the legislation of the Czech Republic the entitlement to benefits can be established only taking into account the periods of coverage completed under the legislation of Japan and the third state within the meaning of paragraph 1 of Article 14, then the competent institution of the Czech Republic:

(a) shall calculate the theoretical amount of the benefit which could have been claimed provided that all periods of coverage had been completed under the legislation of the Czech Republic; and

(b) then, on the basis of the theoretical amount calculated in accordance with subparagraph (a), shall determine the actual amount of the benefit payable by applying the ratio of the duration of the periods of coverage completed under the legislation of the Czech Republic to the total periods of coverage referred to in subparagraph (a).

In order to determine the basis for calculation of the benefit, the competent institution of the Czech Republic shall, in applying the provision of subparagraph (a), take into account only income gained during the periods of coverage completed under the legislation which it applies. This income, indexed according to the legislation of the Czech Republic, will be considered as gained during the periods of coverage completed under the legislation of Japan and the third state that are taken into account for the calculation of the theoretical amount of the benefit.

Article 16 Special Provisions

1. (a) Facts that have legal effect on entitlement, reduction, suspension or amount of benefit, occurring in the territory of Japan, shall be taken into account as if they had taken place in the territory of the Czech Republic.

チエコとの社会保障協定

(b) チェコ共和国の権限のある当局は、特定の範囲の受給者の利益のため、(a)の規定の適用を制限することができる。

2 十八歳に達する前から重度の障害の状態にある者であつて、必要な保険期間の間チェコ共和国の年金保険制度に加入していなかったものは、チェコ共和国に通常居住していることを条件として、重度の障害に対する年金を受ける権利を取得する。

第三章 日本国に関する規定

第十七条 通算に関する特別規定

1 第一条1(e)に規定する保険期間には、社会保障に関する他の協定であつてこの協定と同種のものにより、日本国の法令による給付を受ける権利を確立するために考慮することとされた期間は含まない。

2 第十三条の規定は、各共済年金の職域加算年金及び保険料の還付として支給される一時金については適用しない。

3 第十三条の規定の適用に当たっては、チェコ共和国の法令による保険期間は、日本国の被用者年金制度の保険期間及びこれに対応する国民年金の保険期間として考慮する。

4 第四条の規定は、日本国の領域外に通常居住することに基づいて日本国民に対して認められる合算対象期間に関する日本国の法令の規定の適用を妨げるものではない。

(b) The competent authority of the Czech Republic may, in the interest of categories of beneficiaries, limit the application of the provision of subparagraph (a).

2. A person whose full disability began before reaching the age of 18 and who has not participated in the pension insurance scheme for the necessary period of coverage shall be entitled to a full disability benefit, provided that person is an ordinary resident of the Czech Republic.

Section 3
Provisions concerning Japan

Article 17
Special Provisions concerning Totalization

1. The period of coverage specified in subparagraph (e) of paragraph 1 of Article 1 does not include a period which shall be taken into account, for the purpose of establishing entitlement to benefits under the legislation of Japan, pursuant to other agreements on social security comparable with this Agreement.

2. Article 13 shall not apply to the additional pension for specified occupations under the mutual aid pensions and the lump-sum payments equivalent to the refund of contributions.

3. In applying Article 13, the periods of coverage completed under the legislation of the Czech Republic shall be taken into account as periods of coverage under the Japanese pension systems for employees and as corresponding periods of coverage under the National Pension.

4. Article 4 shall not affect the provisions on complementary periods for Japanese nationals on the basis of ordinary residence outside the territory of Japan under the legislation of Japan.

通算に
関する
特別
規定

第十八条 障害給付及び遺族給付に関する特別規定

1 2 (a)の規定に従うことを条件として、日本国の法令が、障害給付又は遺族給付（保険料の還付として支給される一時金を除く。以下この条において同じ。）を受ける権利の確立のために初診日又は死亡日が特定の保険期間中にあることを要件として定めている場合において、初診日又は死亡日がチェコ共和国の法令による保険期間中にあるときは、これらの給付を受ける権利の確立に当たり当該要件は満たされたものとみなす。

2 (a) 国民年金の下での障害給付又は遺族給付を受ける権利が1の規定を適用せずとも確立される場合には、1の規定は、日本国の被用者年金制度の下での同一の保険事故に基づく障害給付又は遺族給付を受ける権利の確立に当たっては、適用しない。

(b) 1の規定の適用に当たっては、二以上の日本国の被用者年金制度における保険期間を有する者については、1に規定する要件は、日本国の法令に従って、一の被用者年金制度について満たされたものとみなす。

3 第五条1の規定は、初診日又は死亡日において六十歳以上六十五歳未満であった者に関して障害基礎年金又は遺族基礎年金を受ける権利の取得のために日本国の領域内に通常居住していることを要件として定めた日本国の法令の規定の適用を妨げるものではない。

第十九条 給付の計算

1 日本国の実施機関は、第十三条又は前条1の規定の適用により日本国の給付を受ける権利が確立される場合には、2から5までの規定に従うことを条件として、日本国の法令に従って当該給付の額を計算する。

Article 18
Special Provisions concerning Disability Benefits
and Survivors' Benefits

1. Subject to subparagraph (a) of paragraph 2 of this Article, where the legislation of Japan requires for entitlement to disability benefits or survivors' benefits (except the lump-sum payments equivalent to the refund of contributions) that the date of the first medical examination or of the death lies within specified periods of coverage, this requirement shall be deemed to be fulfilled for the purpose of establishing entitlement to those benefits if such a date lies within the periods of coverage completed under the legislation of the Czech Republic.

2. (a) If entitlement to disability benefits or survivors' benefits (except the lump-sum payments equivalent to the refund of contributions) under the National Pension is established without applying paragraph 1 of this Article, that paragraph shall not be applied for the purpose of establishing entitlement to disability benefits or survivors' benefits (except the lump-sum payments equivalent to the refund of contributions) based on the same insured event under the Japanese pension systems for employees.

(b) In applying paragraph 1 of this Article, as regards a person who possesses periods of coverage under two or more Japanese pension systems for employees, the requirement referred to in that paragraph shall be deemed to be fulfilled for one of those pension systems in accordance with the legislation of Japan.

3. Paragraph 1 of Article 5 shall not affect the provisions of the legislation of Japan which require a person who is aged 60 or over but under 65 on the date of the first medical examination or of the death to reside ordinarily in the territory of Japan for the acquisition of entitlement to the Disability Basic Pension or the Survivors' Basic Pension.

Article 19
Calculation of Benefits

1. Where entitlement to a Japanese benefit is established by virtue of Article 13 or paragraph 1 of Article 18, the competent institution of Japan shall calculate the amount of that benefit in accordance with the legislation of Japan, subject to paragraphs 2 to 5 of this Article.

チェコとの社会保障協定

一九四

2 障害基礎年金その他の保険期間にかかわらず一定額が支給される給付に関しては、当該給付を受けるための要件が第十三条又は前条1の規定の適用により満たされる場合には、支給される当該給付の額は、当該給付が支給される年金制度における保険料納付期間及び保険料免除期間並びにチェコ共和国の法令による保険期間を合算した期間に対する当該保険料納付期間及び保険料免除期間を合算した期間の比率に基づいて計算する。

3 日本国の被用者年金制度の下での障害給付及び遺族給付（当該制度における保険期間が日本国の法令上定められた期間に満たない場合に支給されるものであって、支給される当該給付の額が当該定められた期間に基づいて計算されるものに限る。）に関しては、当該給付を受けるための要件が第十三条又は前条1の規定の適用により満たされる場合には、支給される当該給付の額は、日本国の被用者年金制度における保険期間及びチェコ共和国の法令による保険期間を合算した期間に対する当該日本国の被用者年金制度における保険期間の比率に基づいて計算する。ただし、当該合算した期間が当該定められた期間を超える場合には、当該合算した期間は、当該定められた期間と同一の期間とする。

4 2及び3の規定による日本国の被用者年金制度の下での給付の額の計算に関しては、当該給付を受ける権利を有する者が二以上の日本国の被用者年金制度における保険期間を有する場合には、2に規定する当該給付が支給される年金制度における保険料納付期間又は3に規定する日本国の被用者年金制度における保険期間は、当該二以上の日本国の被用者年金制度における保険期間を合算した期間とする。ただし、当該合算した期間が3に規定する日本国の法令上定められた期間に等しい場合又はこれを超える場合には、3及びこの4に規定する計算方法は、適用しない。

2. With regard to the Disability Basic Pension and other benefits, the amount of which is a fixed sum granted regardless of the period of coverage, if the requirements for receiving such benefits are fulfilled by virtue of Article 13 or paragraph 1 of Article 18, the amount to be granted shall be calculated according to the proportion of the sum of the periods of contribution and the premium-exempted periods under the pension system from which such benefits will be paid to the sum of those periods of contribution, those premium-exempted periods and the periods of coverage completed under the legislation of the Czech Republic.

3. With regard to disability benefits and survivors' benefits under the Japanese pension systems for employees, insofar as the amount of those benefits to be granted is calculated on the basis of the specified period determined by the legislation of Japan when the periods of coverage under those systems are less than that specified period, if the requirements for receiving such benefits are fulfilled by virtue of Article 13 or paragraph 1 of Article 18, the amount to be granted shall be calculated according to the proportion of the periods of coverage under the Japanese pension systems for employees to the sum of those periods of coverage and the periods of coverage completed under the legislation of the Czech Republic. However, when the sum of the periods of coverage exceeds that specified period, that sum of the periods of coverage shall be regarded as equal to that specified period.

4. With regard to the calculation of the amount of benefits under the Japanese pension systems for employees in accordance with paragraphs 2 and 3 of this Article, if a person entitled to the benefits possesses periods of coverage under two or more such pension systems, the periods of contribution under the pension system from which such benefits will be paid referred to in paragraph 2 of this Article or the periods of coverage under the Japanese pension systems for employees referred to in paragraph 3 of this Article shall be the sum of the periods of coverage under all such pension systems. However, when the sum of the periods of coverage equals or exceeds the specified period determined by the legislation of Japan within the meaning of paragraph 3 of this Article, the method of calculation stipulated in paragraph 3 of this Article and this paragraph shall not apply.

5 老齢厚生年金の一部である配偶者加給その他の給付であつて、日本国の被用者年金制度における保険期間が日本国の法令上定められた期間に等しい場合又はこれを超える場合に一定額が支給されるものに関しては、当該給付を受けるための要件が第十三条の規定の適用により満たされる場合には、支給される当該給付の額は、当該定められた期間に対する当該給付が支給される日本国の被用者年金制度における保険期間の比率に基づいて計算する。

第四部 雑則

第二十条 行政上の協力

- 1 両締約国の権限のある当局は、
 - (a) この協定の実施のために必要な行政上の取決めについて合意する。
 - (b) この協定の実施のために連絡機関を指定する。
 - (c) 自国の法令の変更（この協定の実施に影響を及ぼすものに限る。）に関するすべての情報をできる限り速やかに相互に通報する。
- 2 両締約国の権限のある当局及び実施機関は、それぞれの権限の範囲内で、この協定の実施のために相互に援助する。この援助は、無償で行う。
- 3 文書を相互に承認することについては、両締約国の実施機関の間で合意する。

第二十一条 手数料及び認証

- 1 一方の締約国の法令その他の法律及び規則において、当該一方の締約国の法令の適用に際して提出すべき文書に係る行政上又は領事事務上の手数料の免除又は軽減に関して規定する場合には、これらの規定は、この協定及び他方の締約国の法令の適用に際して提出すべき文書についても、適用する。

5. With regard to the Additional Pension for Spouses which is included in the Old-age Employees' Pension and any other benefits that may be granted as a fixed sum in cases where the periods of coverage under the Japanese pension systems for employees equal or exceed the specified period determined by the legislation of Japan, if the requirements for receiving such benefits are fulfilled by virtue of Article 13, the amount to be granted shall be calculated according to the proportion of those periods of coverage under the Japanese pension systems for employees from which such benefits will be paid to that specified period.

Part IV

Miscellaneous Provisions

Article 20

Administrative Collaboration

1. The competent authorities of both Contracting States shall:
 - (a) agree on the administrative arrangements necessary for the implementation of this Agreement;
 - (b) designate liaison agencies for the implementation of this Agreement; and
 - (c) communicate to each other, as soon as possible, all information about changes to their respective legislation insofar as those changes affect the implementation of this Agreement.
2. The competent authorities and competent institutions of both Contracting States, within the scope of their respective authorities, shall assist each other in implementing this Agreement. This assistance shall be free of charge.
3. Mutual recognition of documents will be agreed between the competent institutions of both Contracting States.

Article 21

Charges or Fees and Authentication

1. Insofar as the legislation, other laws and regulations of a Contracting State contain provisions on an exemption or reduction of administrative charges or consular fees for documents to be submitted under the legislation of that Contracting State, those provisions shall also apply to documents to be submitted in the application of this Agreement and the legislation of the other Contracting State.

2 この協定及び一方の締約国の法令の適用に際して提出される文書については、外交機関又は領事機関による認証その他これに類する手続を要しない。

第二十二条 連絡及び使用言語

1 両締約国の権限のある当局、実施機関及び連絡機関は、この協定の実施に必要な場合には、相互に、及び関係者（その居住地を問わない。）に対して、直接に連絡することができる。この連絡は、両締約国のそれぞれの言語又は英語により行うことができる。

2 この協定の実施に際し、一方の締約国の権限のある当局及び実施機関は、他方の締約国の言語又は英語で作成されていることを理由として申請書その他の文書の受理を拒否してはならない。

第二十三条 文書の提出

1 一方の締約国の法令に基づく文書による給付の申請、不服申立てその他申告が他方の締約国の法令に基づく類似の申請、不服申立てその他申告を受理する権限を有する当該他方の締約国の権限のある当局又は実施機関に対して提出された場合には、当該給付の申請、不服申立てその他申告については、その提出の日に当該一方の締約国の権限のある当局又は実施機関に対して提出されたものとみなす。

2 一方の締約国の権限のある当局又は実施機関は、給付の申請、不服申立てその他申告が提出された場合には、これらを遅滞なく他方の締約国の権限のある当局又は実施機関に伝達する。

2. Documents which are presented for the purpose of this Agreement and the legislation of a Contracting State shall be exempted from requirements for authentication or any other similar formality by diplomatic or consular authorities.

Article 22
Communication and Use of Languages

1. The competent authorities, competent institutions and liaison agencies of the Contracting States may communicate directly with each other and with any concerned person wherever the person may reside whenever it is necessary for the administration of this Agreement. The communication may be in the respective languages of the Contracting States or English.

2. In implementing this Agreement, the competent authorities and competent institutions of a Contracting State may not reject applications or any other documents for the reason that they are written in the language of the other Contracting State or in English.

Article 23
Submission of Documents

1. When a written application for benefits, an appeal or any other declaration under the legislation of a Contracting State is submitted to a competent authority or competent institution of the other Contracting State which is competent to receive similar applications, appeals or declarations under the legislation of that other Contracting State, that application for benefits, appeal or declaration shall be considered as submitted on the same date to the competent authority or competent institution of the first Contracting State.

2. The competent authority or competent institution of a Contracting State to which the application for benefits, appeal or any other declaration has been submitted shall transmit it without delay to the competent authority or competent institution of the other Contracting State.

第二十四条 情報の秘密性

1 一方の締約国の権限のある当局又は実施機関は、当該一方の締約国の法令の下で収集された個人に関する情報（この協定の実施のために必要なものに限る。）を当該一方の締約国の法律及び規則に従って他方の締約国の権限のある当局又は実施機関に伝達する。

2 一方の締約国の法律及び規則により必要とされない限り、この協定に従って伝達される個人に関する情報は、この協定を実施する目的のためにのみ使用され、並びに個人に関する情報の秘密の保護のための当該一方の締約国の法律及び規則により規律される。

第二十五条 給付の支払

他方の締約国の領域内に居住する受給者に対するこの協定に基づく給付の支払は、自由に交換する（ことができる）通貨により直接行われる。

第二十六条 意見の相違の解決

この協定の解釈又は適用についての意見の相違は、両締約国の関係当局間の協議により解決する。

第二十七条 見出し

この協定中の部、章及び条の見出しは、引用上の便宜のためにのみ付されたものであって、この協定の解釈に影響を及ぼすものではない。

第五部 経過規定及び最終規定

第二十八条 この協定の効力発生前の事実

1 この協定は、その効力発生前に給付を受ける権利を確立させるものではない。

Article 24
Confidentiality of Information

1. The competent authorities or competent institutions of a Contracting State shall, in accordance with its laws and regulations, send to the competent authorities or competent institutions of the other Contracting State information about an individual which has been collected under the legislation of the first Contracting State insofar as the information is necessary for the implementation of this Agreement.

2. Unless otherwise required by the laws and regulations of a Contracting State, information about an individual which is transmitted in accordance with this Agreement shall be used exclusively for the purpose of implementing this Agreement and shall be governed by the laws and regulations of that Contracting State for the protection of confidentiality of personal data.

Article 25
Payment of Benefits

Payments of benefits under this Agreement to beneficiaries who reside in the territory of the other Contracting State are effected directly in freely convertible currencies.

Article 26
Resolution of Disagreements

Any disagreement regarding the interpretation or application of this Agreement shall be resolved by consultation between the relevant authorities of the Contracting States.

Article 27
Headings

The headings of Parts, Sections and Articles of this Agreement are inserted for convenience of reference only and shall not affect the interpretation of this Agreement.

Part V
Transitional and Final Provisions

Article 28

Facts prior to the Entry into Force of the Agreement

1. This Agreement shall not establish any entitlement to benefits for any period prior to its entry into force.

- 2 この協定の実施に当たっては、この協定の効力発生前の事実を考慮する。
- 3 この協定により給付を受ける権利を確立するに当たっては、この協定の効力発生前の保険期間についても、考慮する。
- 4 第七条1及び4の規定の適用に当たっては、この協定の効力発生の日の前から一方の締約国の領域内で就労していた者については、同条1に規定する派遣の期間及び同条4に規定する自営活動の期間は、この協定の効力発生の日を開始したものとみなす。

第二十九条 この協定の効力発生前の決定及び再計算

- 1 この協定の効力発生前に行われた決定は、この協定により確立されるいかなる権利にも影響を及ぼすものではない。
- 2 この協定の効力発生の日前に計算された給付の額は、請求により再計算することができ、この再計算の結果として、支払われるべき給付の額を減額してはならない。

第三十条 効力発生

効力発生
この協定は批准されなければならず、両締約国が批准書を交換する月の後三箇月目の月の初日に効力を生ずる。

第三十一条 有効期間及び終了

- 1 この協定は、無期限に効力を有する。いずれの締約国も、外交上の経路を通じて他方の締約国に対し書面によりこの協定の終了の通告を行うことができる。この場合には、この協定は、当該他方の締約国が当該通告を受領した月の後十二箇月目の月の末日まで効力を有する。

2. In the implementation of this Agreement, the facts occurring prior to its entry into force shall be taken into account.

3. When establishing entitlement to benefits by virtue of this Agreement, the periods of coverage completed prior to its entry into force shall also be taken into account.

4. In applying paragraphs 1 and 4 of Article 7, in the case of persons who have been working in the territory of a Contracting State prior to the date of entry into force of this Agreement, the period of detachment or self-employed activity referred to in paragraphs 1 and 4 of Article 7 shall be considered to begin on the date of entry into force of this Agreement.

Article 29
Decisions prior to the Entry into Force
of the Agreement and Recalculation

1. Decisions made before the entry into force of this Agreement shall not affect any rights to be established by virtue of this Agreement.
2. The amount of benefits which was calculated prior to the date on which this Agreement entered into force may be recalculated upon request. This recalculation shall not result in any reduction in the amount of benefits to be paid.

Article 30
Entry into Force

This Agreement shall be subject to ratification and shall enter into force on the first day of the third month following the month in which the Contracting States shall exchange the instruments of ratification.

Article 31
Duration and Termination

1. This Agreement shall remain in force for an indefinite period. Either Contracting State may give to the other Contracting State, through diplomatic channels, written notice of termination of this Agreement. In that event, this Agreement shall remain in force until the last day of the twelfth month following the month in which the notice of termination was received by the other Contracting State.

未 文

2 この協定が1の規定に従って終了する場合には、この協定の下で取得された給付を受ける権利及び給付の支払に関する権利は、維持される。

以上の証拠として、下名は、正当に委任を受けてこの協定に署名した。

二千八年二月二十一日にプラハで、ひとしく正文である日本語、チェコ語及び英語により本書二通を作成した。解釈に相違がある場合には、英語の本文による。

日本国のために

熊澤英昭

チェコ共和国のために

ペトル・ネチャス

2. If this Agreement is terminated in accordance with paragraph 1 of this Article, rights regarding entitlement to and payment of benefits acquired under this Agreement shall be retained.

In witness whereof, the undersigned, being duly authorized thereto, have signed this Agreement.

Done at Prague this twenty-first day of February, 2008, in duplicate, in the Japanese, Czech and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

For Japan:

熊澤英昭

For the Czech Republic:

Petr Nečas

SMLOUVA MEZI
JAPONSKEM A ČESKOU REPUBLIKOU
O SOCIÁLNÍM ZABEZPEČENÍ

Japonsko a Česká republika,
dále jen „smluvní státy“,
vedeny přáním upravit mezi sebou vztahy v oblasti
sociálního zabezpečení,
se dohodly takto:

Část I
Všeobecná ustanovení

Článek 1
Definice

1. Pro účely této smlouvy:

- (a) „státní občan“ znamená,
ve vztahu k Japonsku,
japonského státního občana ve smyslu zákona
o státním občanství Japonska,
ve vztahu k České republice,
osobu se státním občanstvím České republiky;
- (b) „právní předpisy“ znamená
zákony a předpisy smluvního státu týkající se
systémů uvedených v článku 2;
- (c) „příslušný úřad“ znamená
ministerstvo nebo jiný vládní orgán smluvního
státu, do jehož kompetence spadáji systémy tohoto
smluvního státu uvedené v článku 2;

- (d) „příslušná instituce“ znamená
instituci pojištění smluvního státu, nebo jejích
sdružení, zodpovědnou za realizaci systémů tohoto
smluvního státu uvedených v článku 2;
- (e) „doba pojištění“ znamená
dobu placení příspěvků podle právních předpisů
smluvního státu a veškerou další dobu, která se
podle těchto právních předpisů bere v úvahu pro
stanovení nároku na dávky;
- (f) „dávka“ znamená
důchod nebo jakoukoli jinou dávku podle právních
předpisů smluvního státu.

2. Pro účely této smlouvy má jakýkoli jiný výraz
nedefinovaný v této smlouvě význam, který mu náleží podle
příslušných právních předpisů každého smluvního státu.

Článek 2
Věcný rozsah

1. Ve vztahu k České republice se tato smlouva vztahuje
na systémy upravené následujícími zákony:

- (a) Zákon o důchodovém pojištění a zákony
související;
 - (b) (i) Zákon o pojistném na sociální zabezpečení
a příspěvku na státní politiku
zaměstnanosti a předpisy související a
(ii) Zákon o veřejném zdravotním pojištění
a předpisy související;
- avšak pro účely této smlouvy se články 5, 13 až 19, 23,
25, 28 (vyjma odstavce 4), 29 a odstavec 2 článku 31
použijí pouze na systémy upravené zákony pod písmenem
(a).

2. Ve vztahu k Japonsku se tato smlouva použije

- (a) na následující japonské důchodové systémy:
(i) Národní důchod (kromě Národního penzijního
fonde);

- (ii) Důchodové pojištění zaměstnanců (kromě Zaměstnaneckého penzijního fondu);
 - (iii) Vzájemný podpůrný důchod pro státní veřejné úředníky;
 - (iv) Vzájemný podpůrný důchod pro místní veřejné úředníky a personál s obdobným statutem (kromě důchodového systému pro členy místních sborů) a
 - (v) Vzájemný podpůrný důchod pro personál soukromých škol
- (japonské důchodové systémy uvedené pod písmeny (ii) až (v) jsou dále uváděny jako „japonské důchodové systémy pro zaměstnance“);
- avšak pro účely této smlouvy Národní důchod nezahrnuje sociální důchod ve stáří ani žádné jiné důchody, jejichž poskytování je dočasného nebo doplňkového charakteru pro účely sociální pomoci, a které jsou vypláceny zcela nebo převážně ze zdrojů státního rozpočtu; a
- (b) na japonské systémy zdravotního pojištění prováděné podle následujících zákonů:
- (i) Zákon o zdravotním pojištění (zákon č. 70, 1922);
 - (ii) Zákon o zdravotním pojištění námořníků (včetně ustanovení o pojištění zaměstnanosti a o pojištění pracovníků pro náhrady při úrazech (zákon č. 73, 1939);
 - (iii) Zákon o národním zdravotním pojištění (zákon č. 192, 1958);
 - (iv) Zákon o vzájemném podpůrném sdržení pro státní veřejné úředníky (zákon č. 128, 1958);
 - (v) Zákon o vzájemném podpůrném sdržení pro místní veřejné úředníky a personál s obdobným statutem (zákon č. 152, 1962);
 - (vi) Zákon o vzájemné podpoře pro personál soukromých škol (zákon č. 245, 1953) a
 - (vii) Zákon o zajištění poskytování zdravotní péče starším občanům (zákon č. 80, 1982);

avšak pro účely této smlouvy se články 5, 13 až 19, 23, 25, 28 (vyjma odstavce 4), 29 a odstavec 2 článku 31 použijí pouze na japonské důchodové systémy uvedené pod písmenem (a).

3. Zákony a předpisy uvedené v předchozích odstavcích zahrnují také jejich změny, pokud nemění rozsah systémů upravených nebo realizovaných zákony a předpisy před jejich změnami.

Článek 3
Osobní rozsah

Tato smlouva se vztahuje na osobu, která podléhá nebo podléhala právním předpisům smluvního státu, a na jiné osoby, které odvozují práva od takové osoby.

Článek 4
Rovnost nakládání

Nestanoví-li tato smlouva jinak, budou osoby uvedené v článku 3, které bydlí na území smluvního státu, postaveny při používání právních předpisů tohoto smluvního státu navenek jeho vlastním státním občanům.

Článek 5
Výplata dávek do ciziny

1. Nestanoví-li tato smlouva jinak, jakékoli ustanovení právních předpisů smluvního státu, které omezuje nárok na dávky nebo jejich výplatu pouze z toho důvodu, že daná osoba bydlí mimo území tohoto smluvního státu, se nepoužije u osob, které bydlí na území druhého smluvního státu.
2. Dávky podle právních předpisů smluvního státu budou vypláceny státním občanům druhého smluvního státu bydlícím na území třetího státu za stejných podmínek jako státním občanům prvního smluvního státu, kteří bydlí na území takového třetího státu.

Část II
Ustanovení o aplikovatelných právních předpisech

Článek 6
Obecná ustanovení

Nestanoví-li tato smlouva jinak, osoba zaměstnaná nebo samostatně výdělečně činná na území smluvního státu bude podléhat, pokud jde o toto zaměstnání nebo samostatnou výdělečnou činnost, pouze právním předpisům tohoto smluvního státu.

Článek 7
Zvláštní ustanovení

1. Je-li zaměstnanec, který podléhá právním předpisům smluvního státu a je zaměstnan na území tohoto smluvního státu zaměstnavatelem se sídlem na tomto území, vyslán tímto zaměstnavatelem z tohoto území na území druhého smluvního státu, aby tam pro něho vykonával práci, bude tento zaměstnanec podléhat pouze právním předpisům prvního smluvního státu tak, jako by tento zaměstnanec pracoval na území prvního smluvního státu, za předpokladu, že očekávaná doba takového vyslání nepřesahuje pět let.

2. Pokud vyslání uvedené v odstavci 1 tohoto článku trvá déle než pět let, příslušné úřady obou smluvních států, nebo jimi pověřené příslušné instituce, se mohou dohodnout, že zaměstnanec bude i nadále podléhat pouze právním předpisům prvního smluvního státu.

3. Odstavec 1 tohoto článku se použije i v případě, že zaměstnanec, který byl vyslán zaměstnavatelem z území smluvního státu na území třetího státu, je následně vyslán tímto zaměstnavatelem z území tohoto třetího státu na území druhého smluvního státu.

4. Jestliže osoba podléhající právním předpisům smluvního státu a obvykle pracující na území tohoto smluvního státu jako osoba samostatně výdělečně činná, dočasně pracuje jako osoba samostatně výdělečně činná pouze na území druhého smluvního státu, bude tato osoba podléhat pouze právním předpisům prvního smluvního státu tak, jako by tato osoba pracovala na území prvního smluvního státu, za předpokladu, že očekávaná doba takové samostatné výdělečné činnosti nepřesahuje pět let.

5. Pokud samostatná výdělečná činnost na území druhého smluvního státu uvedená v odstavci 4 tohoto článku trvá déle než pět let, příslušné úřady obou smluvních států, nebo jimi pověřené příslušné instituce, se mohou dohodnout, že osoba samostatně výdělečně činná bude i nadále podléhat pouze právním předpisům prvního smluvního státu.

6. Odstavce 1 a 4 tohoto článku se nevztahují na osobu, která je zaměstnána na území Japonska zaměstnavatelem se sídlem na tomto území, nebo která obvykle pracuje na území Japonska jako osoba samostatně výdělečně činná, pokud taková osoba nepodléhá právním předpisům Japonska týkajícím se japonských důchodových systémů uvedených v článku 2 odstavce 2 písmena (a) (i) až (v).

Článek 8
Osoby pracující na palubě námořní lodi

Osoba, která pracuje na palubě námořní lodi plující pod vlajkou smluvního státu bude podléhat pouze:

- (a) v případech, kdy je osoba zaměstnanec, právním předpisům smluvního státu, na jehož území sídlí zaměstnavatel;
- (b) v případech, kdy je osoba samostatně výdělečně činná, právním předpisům smluvního státu, na jehož území tato osoba bydlí.

Článek 9
Členové diplomatických misí,
členové konzulárních úřadů a státní úředníci

1. Touto smlouvou nejsou dotčena ustanovení Vídeňské úmluvy o diplomatických stycích z 18. dubna 1961 ani Vídeňské úmluvy o konzulárních stycích z 24. dubna 1963.

2. S výhradou odstavce 1 tohoto článku, je-li státní úředník smluvního státu, nebo osoba podle právních předpisů tohoto smluvního státu za takovou považovaná, vyslána pracovat na území druhého smluvního státu, bude tato osoba podléhat právním předpisům prvního smluvního státu tak, jako by pracovala na území prvního smluvního státu.

Článek 10
Výjimky z článků 6 až 9

Na společnou žádost zaměstnance a zaměstnavatele nebo na žádost osoby samostatně výdělečně činné se mohou příslušné úřady obou smluvních států, nebo jimi pověřené příslušné instituce, dohodnout na udělení výjimky z ustanovení článků 6 až 9 v zájmu určitých osob nebo skupin osob za předpokladu, že takové osoby nebo skupiny osob budou podléhat právním předpisům některého ze smluvních států.

Článek 11
Doprovázející manžel a děti

1. Pokud jde o doprovázejícího manžela nebo děti osoby pracující na území Japonska, která podle článku 7, článku 9 odstavec 2 nebo článku 10 podléhá právním předpisům České republiky:

(a) V případech, kdy doprovázející manžel nebo děti jsou osobami jiného než japonského státního občanství, právní předpisy Japonska týkající se japonských důchodových systémů uvedených v článku 2 odstavec 2 písmeno (a) se na ně neuplatní. Pokud však doprovázející manžel nebo děti o to požádají, předchozí se nepoužije;

(b) V případech, kdy doprovázející manžel nebo děti jsou japonskými státními občany, vynětí z právních předpisů Japonska týkajících se japonských důchodových systémů uvedených v článku 2 odstavec 2 písmeno (a) bude určeno v souladu s japonskými právními předpisy.

2. Pokud jde o doprovázejícího manžela nebo děti osoby podléhající podle článku 6 právním předpisům České republiky, kteří bydlí na území České republiky, vztahují se na ně také právní předpisy České republiky o systému zdravotního pojištění uvedené v článku 2 odstavec 1 písmeno (b).

Článek 12
Povinné pojištění

Články 6 až 8, článek 9 odstavec 2 a článek 11 se týkají pouze povinného pojištění podle právních předpisů smluvního státu.

Část III
Ustanovení o dávkách

Oddíl 1
Společná ustanovení
Článek 13
Sčítání

Neziskala-li osoba dostatečnou dobu pojištění pro splnění podmínek nároku na dávky podle právních předpisů smluvního státu, příslušná instituce tohoto smluvního státu vezme pro stanovení nároku na tyto dávky v úvahu dobu pojištění získané podle právních předpisů druhého smluvního státu v rozsahu, v jakém se nepřekrývají s dobami pojištění získanými podle právních předpisů prvního smluvního státu.

Oddíl 2
Ustanovení týkající se České republiky

Článek 14
Doby podle právních předpisů třetího státu a doby kratší dvanacti měsíců

1. Příslušná instituce České republiky vezme pro stanovení nároku na dávky podle právních předpisů České republiky v úvahu doby pojištění získané podle právních předpisů třetího státu, s nímž je Česká republika vázána dokumentem o sociálním zabezpečení obsahujícím ustanovení o sčítání dob pojištění.

2. Nedosahují-li doby pojištění získané podle právních předpisů České republiky dvanacti měsíců a nevznikne-li na jejich základě nárok na dávky, příslušná instituce České republiky nepoužije článek 13 a dávky nepřizná.

Článek 15
Výpočet dávek

1. Jsou-li podle právních předpisů České republiky splněny podmínky nároku na dávku i bez přihlednutí k dobám pojištění získaným podle právních předpisů Japonska, vypočte příslušná instituce České republiky dávky:

(a) výlučně na základě dob pojištění získaných podle právních předpisů České republiky a rovněž,

- (b) podle pravidel stanovených v odstavci 2 tohoto článku s výjimkou případu, kdy výsledek takového výpočtu by byl stejný nebo nižší, než výsledek výpočtu podle písmene (a).

Oprávněná osoba bude mít nárok na vyšší z dávek vypočtených podle písmen (a) a (b).

2. Pokud nárok na dávku podle právních předpisů České republiky může vzniknout pouze s přihlédnutím k dobám pojištění získaným podle právních předpisů Japonska a třetího státu ve smyslu článku 14 odstavce 1, pak příslušná instituce České republiky:

- (a) vypočte nejprve teoretickou výši dávky, která by náležela v případě, že by všechny doby pojištění byly získány podle právních předpisů České republiky a
- (b) poté, na základě teoretické výše vypočtené podle písmene (a), stanoví skutečnou výši dávky podle poměru délky dob pojištění získaných podle právních předpisů České republiky k celkové době pojištění uvedené pod písmenem (a).

Příslušná instituce České republiky vezme při aplikaci ustanovení písmene (a) za základ pro výpočet dávky v úvahu pouze příjmy dosažené v dobách pojištění získaných podle právních předpisů, které provádí. Tyto příjmy, s indexací podle právních předpisů České republiky, budou považovány za dosažené i v dobách pojištění získaných podle právních předpisů Japonska a třetího státu, k nimž přihlíží při stanovení teoretické výše dávky.

Článek 16
Zvláštní ustanovení

1. (a) Skutečnosti mající vliv na nárok, krácení, pozastavení či vyšší dávky, které nastaly na území Japonska, budou posuzovány tak, jako by k nim došlo na území České republiky.
- (b) Příslušný úřad České republiky může, v zájmu skupin oprávněných osob, omezit použití ustanovení písmene (a).

2. Podmínkou nároku na plný invalidní důchod osob, které pro svůj dlouhodobě nepřiznivý zdravotní stav vzniklý před dosažením 18 let věku nebyly účastny důchodového pojištění po potřebnou dobu, je trvalý pobyt osoby na území České republiky.

Oddíl 3
Ustanovení týkající se Japonska

Článek 17
Zvláštní ustanovení o sčítání

1. Doba pojištění uvedená v článku 1 odstavce 1 písmeno (e) nezahrnuje dobu, která se bere v úvahu pro účely stanovení nároku na dávky podle právních předpisů Japonska na základě jiných smluv o sociálním zabezpečení srovnatelných s touto smlouvou.

2. Článek 13 se nepoužije na doplňkový důchod pro určitá zaměstnání na základě vzájemných podpůrných důchodů a na jednorázové platby odpovídající vrácení příspěvků.

3. Při aplikaci článku 13 se doby pojištění získané podle právních předpisů České republiky vezmou v úvahu jako doby pojištění podle japonských důchodových systémů pro zaměstnance a jako odpovídající doby pojištění podle Národního důchodu.

4. Článek 4 nemá vliv na ustanovení o doplňkových dobách podle právních předpisů Japonska pro japonské státní občany bydlící mimo území Japonska.

Článek 18
Zvláštní ustanovení o invalidních dávkách a dávkách pozustalých

1. S výhradou odstavce 2 písmeno (a) tohoto článku tam, kde právní předpisy Japonska vyžadují pro nárok na invalidní dávky nebo na dávky pozustalých (výjma jednorázových plateb odpovídajících vrácení příspěvků), aby datum prvé lékařské prohlídky nebo úmrtí spadalo do určité doby pojištění, považuje se pro stanovení nároku na takové dávky tato podmínka za splněnou, jestliže takové datum spadá do dob pojištění získaných podle právních předpisů České republiky.

2. (a) Pokud nárok na invalidní dávky nebo na dávky pozůstalých (vyjma jednorázových dávek odpovídajících vrácení příspěvků) na základě Národního důchodu se stanoví bez použití odstavce 1 tohoto článku, nepoužije se tento odstavec pro stanovení nároku na invalidní dávky nebo na dávky pozůstalých (vyjma jednorázových plateb odpovídajících vrácení příspěvků) na základě stejného pojistného případu podle japonských důchodových systémů pro zaměstnance.
- (b) Pokud jde o osobu, která získala doby pojištění podle dvou či více japonských důchodových systémů pro zaměstnance, považuje se při aplikaci odstavce 1 tohoto článku podmlnka uvedená v tomto důchodových systémů v souladu s právními předpisy Japonska.

3. Článek 5 odstavce 1 nemá vliv na ustanovení právních předpisů Japonska, které pro získání nároku na základní invalidní důchod nebo na základní důchod pozůstalých požadují, aby osoba ve věku 60 nebo více let, avšak mladší 65 let k datu prvé lékařské prohlídky nebo úmrtí bydlela na území Japonska.

Článek 19 Výpočet dávek

1. Pokud se nárok na japonskou dávku stanoví s použitím článku 13 nebo článku 18 odstavce 1, příslušná instituce Japonska vypočte výši této dávky, s výhradou odstavců 2 až 5 tohoto článku, podle právních předpisů Japonska.
2. Pokud jde o základní invalidní důchod a další dávky, jejichž výše je stanovena pevnou částkou bez ohledu na dobu pojištění, jsou-li podmínky pro získání takových dávek splněny s použitím článku 13 nebo článku 18 odstavce 1, vypočte se částka určená k výplatě podle poměru součtu příspěvkových dob a dob osvobozených od pojistného v rámci důchodového systému, z nichž budou tyto dávky vypláceny, k součtu těchto příspěvkových dob, dob osvobozených od pojistného a dob pojištění získaných podle právních předpisů České republiky.

3. Pokud jde o invalidní dávky nebo dávky pozůstalých podle japonských důchodových systémů pro zaměstnance, kdy výše těchto dávek určených k výplatě se vypočítává na základě předepsaných dob stanovených právními předpisy Japonska, jsou-li doby pojištění podle těchto systémů kratší než předepsané doby a podmínky pro získání takových dávek jsou splněny s použitím článku 13 nebo článku 18 odstavce 1, vypočte se částka určená k výplatě podle poměru dob pojištění v japonských důchodových systémech pro zaměstnance k součtu těchto dob pojištění s dobami pojištění získanými podle právních předpisů České republiky. Jestliže však součet těchto dob pojištění přesahuje předepsanou dobu, považuje se součet těchto dob pojištění za rovnající se předepsané době.

4. Pokud jde o výpočet výše dávek podle japonských důchodových systémů pro zaměstnance v souladu s odstavci 2 a 3 tohoto článku, jestliže osoba s nárokem na dávky získala doby pojištění podle dvou či více takových důchodových systémů, příspěvkové doby v rámci důchodového systému uvedeného v odstavci 2 tohoto článku, z něhož bude tato dávka vyplácena, nebo doby pojištění podle japonských důchodových systémů pro zaměstnance uvedených v odstavci 3 tohoto článku, budou představovat součet dob pojištění podle všech těchto důchodových systémů. Jestliže však součet těchto dob pojištění se rovná nebo přesahuje předepsanou dobu stanovenou ve smyslu odstavce 3 tohoto článku právními předpisy Japonska, způsob výpočtu stanovený v odstavci 3 tohoto článku a v tomto odstavci se nepoužije.
5. Pokud jde o doplňkový důchod manželů, který je zahrnut ve starodním zaměstnaneckém důchodu, a veškeré další dávky, které mohou být poskytovány v pevné částce v případech, kdy doby pojištění podle japonských důchodových systémů pro zaměstnance se rovná nebo přesahuje předepsanou dobu stanovenou právními předpisy Japonska, jestliže podmínky pro získání takových dávek jsou splněny s použitím článku 13, vypočte se částka určená k výplatě podle poměru těchto dob pojištění podle japonských důchodových systémů pro zaměstnance, z něhož budou takové dávky vypláceny, k této předepsané době.

Část IV
Různá ustanovení

Článek 20
Administrativní spolupráce

1. Příslušné úřady obou smluvních států:
 - (a) dohodnou správní ujednání potřebná pro provádění této smlouvy;
 - (b) určí styčná místa pro provádění této smlouvy a
 - (c) navzájem a co nejdříve si sdělí veškeré informace o změnách svých příslušných právních předpisů, které mohou mít vliv na provádění této smlouvy.
2. Příslušné úřady a příslušné instituce obou smluvních států si v rámci jim náležejících pravomocí navzájem pomáhají při provádění této smlouvy. Tato pomoc je bezplatná.
3. Vzájemné uznávání dokladů bude dohodnuto mezi příslušnými institucemi obou smluvních států.

Článek 21
Platby nebo poplatky a ověřování

1. Pokud právní předpisy, jiné zákony a předpisy smluvního státu obsahují ustanovení o osvobození nebo snížení správních nebo konzulárních poplatků pro dokumenty, které se předkládají podle právních předpisů tohoto smluvního státu, platí tato ustanovení také pro dokumenty, které se předkládají při provádění této smlouvy a právních předpisů druhého smluvního státu.
2. Dokumenty předkládané pro účely této smlouvy a právních předpisů smluvního státu jsou výňaky z požadavků na legalizaci nebo jiných podobných formálit diplomatickými nebo konzulárními úřady.

Článek 22
Komunikace a používání jazyků

1. Příslušné úřady, příslušné instituce a styčná místa smluvních států mohou vzájemně a s jakoukoli dotčenou osobou komunikovat přímo bez ohledu na to, kde tato osoba bydlí, kdykoli je to nezbytné pro provádění této smlouvy. Komunikace může být vedena v příslušných jazycích smluvních států nebo v jazyce anglickém.

2. Příslušné úřady a příslušné instituce smluvního státu nesmějí při provádění této smlouvy odmítnout žádosti nebo jiné dokumenty z důvodu, že jsou sepsány v jazyce druhého smluvního státu nebo v jazyce anglickém.

Článek 23
Předkládání dokumentů

1. Předloží-li se písemná žádost o dávky, opravný prostředek nebo jakékoli jiné prohlášení podle právních předpisů smluvního státu příslušnému úřadu nebo příslušné instituci druhého smluvního státu, jež je podle právních předpisů tohoto druhého smluvního státu kompetentní pro přijímání obdobných žádostí, opravných prostředků nebo prohlášení, bude se taková žádost o dávky, opravný prostředek nebo prohlášení považovat za podané ve lhůtě u příslušného úřadu nebo příslušné instituce prvního smluvního státu.
2. Příslušný úřad nebo příslušná instituce smluvního státu, kterým byla předložena žádost o dávky, opravný prostředek nebo jakékoli jiné prohlášení, je povinný bez prodlení příslušnému úřadu nebo příslušné instituci druhého smluvního státu.

Článek 24
Důvěrnost informací

1. Příslušné úřady nebo příslušné instituce smluvního státu zasílají, v souladu s jeho zákony a předpisy, příslušným úřadům nebo příslušným institucím druhého smluvního státu informace o jednotlivci získané podle právních předpisů prvního smluvního státu v míře, nakolik jsou tyto informace nezbytné pro provádění této smlouvy.

2. Nestanoví-li zákony a předpisy smluvního státu jinak, informace o jednotlivci, které jsou předávány v souladu s touto smlouvou, se používají výhradně pro účely provádění této smlouvy a jsou spravovány podle zákonů a předpisů tohoto smluvního státu o ochraně důvěrnosti osobních údajů.

Článek 25
Výplata dávek

Výplata dávek podle této smlouvy poživatelům, kteří bydlí na území druhého smluvního státu, se provádí přímo ve volně směnitelných měnách.

Článek 26

Řešení sporů

Veškeré spory týkající se výkladu nebo provádění této smlouvy se řeší jednáním mezi úřady smluvních států k tomu příslušnými.

Čl. 27
Název

Názvy častí, oddílů a článků této smlouvy jsou uvedeny pouze pro potřeby odkazů a nemají vliv na výklad této smlouvy.

Část V
Ustanovení přechodná a závěrečná

Článek 28
Skutečnosti před vstupem smlouvy v platnost

1. Tato smlouva nezakládá žádné nároky na dávky za jakoukoli dobu před jejím vstupem v platnost.
2. Při provádění této smlouvy se přihlíží ke skutečnostem, které nastaly před jejím vstupem v platnost.
3. Při stanovení nároků na dávky podle této smlouvy se přihlídně také k dobám pojištění, které byly získány před jejím vstupem v platnost.
4. Při aplikaci článku 7 odstavce 1 a 4 v případě osob, které pracovaly na území smluvního státu přede dnem vstupu této smlouvy v platnost, se má za to, že doba výslání nebo samostatně výdělečné činnosti uvedená v článku 7 odstavce 1 a 4 započala dnem vstupu této smlouvy v platnost.

Článek 29

1. Rozhodnutí učiněná před vstupem této smlouvy v platnost neovlivňují žádné nároky stanovené na základě této smlouvy.
2. Částka dávek, která byla vypočtena před vstupem této smlouvy v platnost, může být na žádost přepočtena. Tento přepočtení nepovede ke snížení částky dávek, jež mají být vyplaceny.

Článek 30
Vstup v platnost

Tato smlouva podléhá ratifikaci a vstoupí v platnost prvního dne třetího měsíce následujícího po měsíci, v němž si smluvní státy vymění ratifikační listiny.

Článek 31
Doba platnosti a ukončení platnosti

1. Táto zmlouva sa uzatvára na dobu neurčitou. Každý smluvný štát môže druhému smluvnému štátu diplomatickou cestou doručiť písomné oznámení o výpovedi této smlouvy. V takovom prípade zústať smlouva v platnosti do posledného dňa daného mesiaca nasledujúceho po mesiaci, v nŕmž druhý smluvný štát oznámení o výpovedi obdržel.
2. Bude-li táto smlouva podle odstavce 1 tohoto článku vypovězena, práva nabýatá podle této smlouvy týkající se nároku na dávky a na jejich výplatu zůstanou zachována.

Na důkaz čehož níže podepsaní, řádně k tomu zmocnění, podepsali tuto smlouvu.

Dáno v Praze dne 21. února, 2008 ve dvou původních vyhotoveních, každé v jazyce japonském, českém a anglickém, přičemž všechna znění jsou stejně autentická. V případě jakýchkoli rozdílností ve výkladu je rozhodující anglické znění.

Za Japonsko:

熊澤英昭

Za Českou republiku:

Petr Nečas

(参考)

この協定は、チェコとの間で、年金制度及び医療保険制度への加入に関する法令の適用調整及び年金制度において保険期間の通算を行うことについて定めるものである。